

兵庫商品開発プロジェクト DEN

DEN

(執筆者 石井菜々)

1. 団体説明

兵庫商品開発プロジェクト DEN は、「田畑の恵みを町へ」をコンセプトに、生産者と消費者をつなげたいという想いで活動を行っている。管理栄養士を目指す食環境栄養課程の学生のみで構成されており、講義で学んだ食に関する知識を生かして活動している。

例年の主な活動内容は、町屋でのカフェ営業、福崎町と連携して特産品であるもち麦の振興活動、地域のイベントでの出店販売などである。

2. 活動紹介

DEN はカフェ班、スイーツ班、サンド班、もち麦班、マップ班の5つの班で構成されている。例年は、カフェ班・スイーツ班は毎月カフェで提供するランチメニュー・スイーツをそれぞれ考案している。サンド班は年に数回のサンドカフェを開催したり、毎月カフェで提供する季節のドリンクの考案をしたりしている。もち麦班は年に数回もち麦カフェの開催や福崎町と連携し、もち麦を使ったメニューを考案してイベントに出店、また親子料理教室を開いて食育などを行っている。マップ班は主に広報を担当しており、SNS などの広報活動や、カフェのメニューに使われている食材についてのリーフレットの作成などを担当している。

しかし、昨年から新型コロナウイルスの影響によりカフェ運営を停止せざるを得ない状況に陥った。そのため、SNS においてオリジナルレシピの掲載を行っている。家で食事をする頻度が増えたため、行事食や普段の献立に興味をもつ人が多いと考えた。掲載したオリジナルレシピをより多くの人に実践してもらおうことが狙いである。担当班が毎月 SNS にて更新し、季節感や彩り、手軽さなどを重視している。

表 1：2021 年度の活動（1/20 現在）

主催活動
・ SNS にてオリジナルレシピ及びコラムの掲載（毎月 2 回以上更新）
・ DEN 開発商品「かけるもちむぎ」を使用したレシピ考案

3. 活動を通して学んでいること

応用する力を学んでいる。旬の食材を使用したレシピを考えることや、家庭でもできるよう簡単

な手順にアレンジするなど、授業で学んだことを応用して活動に生かしている。また、行事食のレシピではパッと目を引く華やかさや、盛り付けなどにも気を付けている。

また、地域とのつながりも学んでいる。現在はコロナの影響もあり、以前に比べると地域の方と深くかかわることが難しい状況ではあるが、リーフレットづくりなどで地域の活性化の力になれるよう活動している。

4. 今後の展望

これまで主軸としてきたカフェ運営に携わったことがない学生のみでの活動となるため、カフェ運営ができるようになったときに迅速に対応できるよう準備をしていきたい。コロナ禍の状況がいつまで続くかわからない中で、新しい活動を始めることも視野に入れている。また、他団体と協力して行う活動にも力を入れていきたいと考えている。



図 1：SNS に掲載したオリジナルもち麦料理
(所属学生撮影)



図 2：SNS に掲載した行事食（クリスマス）
(所属学生撮影)